

自動運転レベル4の実用化を巡る問題 —国際的視点から考える—

主催：
公益財団法人 国際交通安全学会



本シンポジウムでは、レベル4の自動運転車が社会に広く導入される前に解決しなければならない重要な問題を取り上げます。具体的には、議論のトピックには次のものが含まれます。

- 自動車メーカー（団体または法人）の刑事責任
- 自動運転システムのプログラマーの責任
- 自動運転車の運転中に発生する可能性のあるトロッコ問題のシナリオに対処するための広範なフレームワーク

■開催日時：2025年1月20日（月）18:00～20:00

■開催方法：Zoom（英語での実施で、日本語への同時通訳は御座いません）

■参加費用：無料

■申込方法：IATSS_事務局：今泉宛にメールしてくださいimaizumi.hidetoshi@iatss.or.jp

（申込み切：2025年1月16日（木）16:00）

講演者・パネリスト紹介



講演者① Prof. Dr. Thomas Weigend

ケルン大学 刑事法・刑事訴訟法 名誉教授



講演者② Prof. Dr. Sabine Gless

バーゼル大学 刑事法・刑事訴訟法 教授



講演者③ 長谷川 晃

北海道大学大学院 法学研究科 法哲学 名誉教授



今井 猛嘉

法政大学大学院 法務研究科 教授

(公財)国際交通安全学会 会員 2402Cプロジェクトリーダー

Ms. Caroline Lebreton (通訳)

法政大学大学院及び同学部講師

国際シンポジウム

「自動運転レベル4の実現化を巡る問題－国際的観点から考える－」

スケジュール

●開会の挨拶

- ▶ 18:00 - 18:05 今井 猛嘉

●講演：25分（講演_20分、質疑応答_5分）

- ▶ 18:05 - 18:30 講演者 ① Prof. Dr. Thomas Weigend

レベル4を実現するための法的、社会的課題
– ドイツの観点

- ▶ 18:30 - 18:55 講演者 ② Prof. Dr. Sabine Gless

レベル4を実現するための法的、社会的課題
– スイスの観点

- ▶ 18:55 - 19:20 講演者 ③ 長谷川 晃 教授

レベル4を実現するための法的、社会的課題
– 日本の観点

●休憩

- ▶ 19:20 - 19:30

●パネルディスカッション・質疑応答

- ▶ 19:30 - 19:55 【進行】 今井 猛嘉
【パネリスト】 講演者3名

●閉会の挨拶

- ▶ 19:55 - 20:00 河合 信之
(公財) 国際交通安全学会 専務理事